

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業パーパス

包み、届け、ひらく。社員一人一人の価値観を尊重しながら、企業の力を社会の未来づくりに活かす

連結売上高
700億円連結営業利益
30億円営業利益率
4.3%

② 中長期の経営戦略

1. 既存事業強化

段ボール事業の収益力強化。適正生産量で利益最大化を実現。原価分析と改善活動。物流クライシス2024対応

3. 開発設計力の強化

サステナブル包装。顧客価値の創造。デジタル印刷の追求で差別化

2. 成長分野の取込み創出

M&A積極実施。国内・海外生産拠点拡充。新規事業展開。自社が保有しない経営資源を取込み成長を加速

4. 人的資本の充実

働き方の選択肢を増やしワーク・イン・ライフを充実。やりがいのある仕事でエンゲージメント向上。ダイバーシティ&インクルージョン推進

③ 対処すべき課題

① 収益力の強化

- ・2024～2026年の3年間で積極的な投資実施
- ・営業キャッシュフロー12,000百万円確保
- ・ROEおよびPBRの一層の向上を目指す

② サステナビリティ経営推進

- ・環境対応商品の拡充（段ボール、軟包装材、紙製緩衝材など）
- ・環境投資1,000百万円を計画

③ グローバル展開と競争力強化

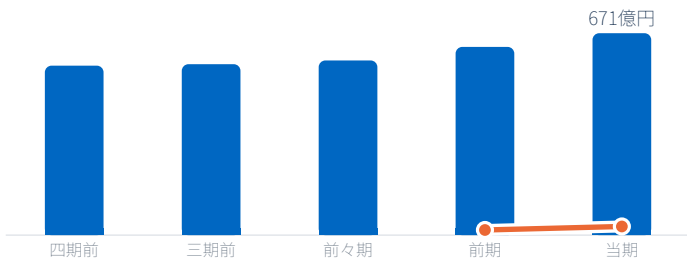
- ・国内・海外の生産拠点を拡充
- ・国内事業の競争力強化およびM&A向け13,500百万円を計画

面接で使えるポイント

- ・企業パーパス「包み、届け、ひらく。」のもと、技術力・デザイン力・マーケティング力で多様なニーズに対応
- ・段ボール・印刷紙器・軟包装材など総合包装企業として、2026年度売上高700億円を目指す成長戦略
- ・ワーク・イン・ライフ充実やダイバーシティ&インクルージョン推進で、やりがいのある職場を実現

証券コード 3947

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
名古屋市に本社を置くパルプ・紙業界の上場企業

主力事業・セグメント

- ・Packaging 99.5%
- ・不動産リース 0.5%

強み・特徴（公開データから）

- ・平均勤続20.4年と定着率が高い

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
671億円営業利益率
4.3%財務健康度
38点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 50.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
637万円

パルプ・紙内 10位/24社

平均年齢
43.4歳

パルプ・紙内 9位/24社

平均勤続
20.4年

パルプ・紙内 7位/24社

女性管理職
2.8%

パルプ・紙内 16位/21社

男性育休
75.0%

パルプ・紙内 14位/21社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ダイナパック(株)【3947】：決算情報

